

女性の活躍応援事業【島根県】

総事業費	7,577 千円
交付金額	3,788 千円

地域の実情と課題

- ①中山間地域が多く、県内企業の99.9%が中小企業で、小規模企業の割合が高い。
- ②女性の就労意欲は高く、有業の女性は多いが、女性は働き続けにくいと感じており、夫の家事・育児時間も女性に比べ少ないため、女性に負担がかかっている。また、女性の管理職への昇進意欲は低い。
- ③県内全域で、企業において女性の活躍推進のための取組が進んでいるとは言い難く、経営者、管理職等と女性の間意識の乖離がある。
- ④県内の有効求人倍率は全国に比べ高く、人手不足が深刻な状況にある。

事業の特徴

- ・連携団体が主体性をもって女性の活躍推進に取り組むため「しまね働く女性きらめき応援会議」にワーキングチームを設置し、事業を実施。
- ・就労体験付きパソコン講習会について、子育てなど時間の制約が多い女性で、非正規から正規雇用を目指す方を対象に、参加しやすく、必要なデジタルスキル等を学ぶことのできる講習や就労体験を実施
- ・就労について考える女性が気軽に専門機関に相談できたり、キャリアを考える一助とするため、就労に必要な情報をまとめたガイドブックを作成
- ・企業の理解を深めるため、職場における子育て世帯への理解促進、男性が家事育児を主体的に行うことの大切さなどを伝える企業内子育て支援セミナーを、助産師を派遣して開催。

事業の効果

- ・女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む事業主等を県が登録する「しまね女性の活躍応援企業」の登録件数は、令和5年3月末で349社となった。
- ・就労体験付きパソコン講習会は7人が受講し、パソコンスキルの向上、興味のある他業種への就職可能性の広がり、キャリアカウンセリングによる職業意識の醸成などがみられた。
- ・企業内子育て支援セミナーは、5社68名の参加者に対して、職場における妊婦への配慮や、男性の家事・育児参加の重要性を伝え、両立して働き続けるための職場内風土の醸成に寄与することができた。

目的・目標

全県での女性の活躍推進のための取組の促進「全国一働きやすく女性が活躍する島根県」の実現と県内企業の発展。
【事業目標:しまね女性の活躍応援企業登録数 625社(R8年度)】
【達成状況:令和5年3月末の登録数 349社】

連携団体

- 【しまね働く女性きらめき応援会議】
- 【経済団体】 商工会議所・商工会連合会、中小企業団体中央会、経営者協会、経済同友会 他
- 【農林水産団体】 JA、森林組合 他
- 【労働団体】 連合島根、連合島根女性委員会
- 【女性団体】 連合婦人会、21世紀職業財団、栄養士会、看護協会、保育協議会 他
- 【教育機関】 島根大学、島根県立大学、松江高専
- 【学識経験者】[行政] など

今後の課題

・さらなる女性活躍を進めていくためには、女性の就労支援を継続して実施し、女性が結婚・出産を迎えても離職することがないように、企業における子育てへの意識を高め、男性の家事・育児参加を促進する取組を継続して実施する必要がある。

事業の概要

<女性の活躍応援事業>

(1) 就労体験付きパソコン講習会の実施

子育てなど時間の制約が多い女性で、非正規から正規職員を目指す方を対象に、参加しやすく、必要なデジタルスキル等を学ぶことのできる、就労体験付きパソコン講習を実施



(パソコン講習)



(就労体験)

(2) 働く女性のハンドブック作成

就労について考える女性が気軽に専門機関に相談できたり、キャリアを考える一助とするため、職業訓練、職業紹介、支援給付、子育て支援、キャリア相談等に関する情報を一つにまとめたガイドブックを作成



(3) 企業内子育て支援セミナーの開催

就業した女性が、結婚・出産を迎えて離職することがないように、企業における子育てへの意識を高め、男性の家事・育児参加を促進するために、企業内子育て支援セミナーを開催し、職場における妊婦への配慮や、子育て家庭への支援について理解を深める、従業員を対象とした講座を開催

(妊婦体験)



(赤ちゃん人形のお世話体験)



(家庭における家事・育児の役割分担を考えるワーク)

